

旧庁舎跡地活用に関する説明会要旨

平成 23 年 3 月 15 日（火） 18:30 和泉橋区民館

区説明者：島崎部長・松本参事・小川課長

出席者 8 名

質疑応答等

【説明会の開催について】

○震災の被害がこれ程出ている中、昨日今日でやらなければならないほど差し迫っているのか？ なぜ強行するのか？

→・詳しい内容の説明会を5月に実施する予定。

・本日に開催する理由は二点。

①既に広報誌や HP で区民向けに広く周知しており、中止を伝えるのは難しいと判断

②区民の福祉向上にかかわることなので、一步一步説明していくことが大切と判断

○家のまわりでも陥没の被害が出ている。そういう状況にあることを知っているのか？

→・報告を受けている。

○この非常事態に説明がつかないのではないか？

→・告知している以上、中止してしまったのは、おいでいただいた方に申し訳ないというのが私の気持ち。

○和泉橋管内には 20 あまりもの町会があるのにこれしか集まっていない。この非常時になんでこんな事をやるのかというのが区民の気持ちだと思う。出席したかったのに交通事情で早く帰らねばならない者もいた。この時期にどうして開催したのか？

→・後日の説明会はここから一步進んだ説明会になる。

○広報したからやるという説明だが、この非常時に止めたからといって責める人はいない。

→・この問題は大事な問題。

○特別委員会を十数回やったと聞いているが、あの委員会でこの方向性でこれを進めるといった結論になったのか？

→・建物を取り壊して広場にするという請願を 1 月 27 日の特別委員会で採択した。本会議でも満場一致で採択した。

・議会からは、この二つの施設を併設するというのが有力な案で、これを区民に説明して区民がどう考えるか、を聞いてみるということで了承を得ている。

○選挙があって、今の議員が戻ってくるかどうか、わからない。31 日の議会でこの話を通すことはしないよね？

→・31 日の臨時会はこれを通すためにやるのではない。

○4月以降、新しい委員会でやるべき話で、その後、区民だと思っていた。そういう時期に、なぜ今説明会なのか？

○同じ意見だ。節電に協力しろというに、こういう説明会をやるのは反している。3月14日は確定申告の前の時期で、どうしてそういう時期に開催するのか、疑問だ。大事な説明会を大きな行事に合わせて開いている。まちづくり推進部だけでなく、政策経営部もか？区民の気持ちをくみ上げる気がないのではないか？

→・この説明会で終らせようとは思っていない。仮基本合意を1月に結んだ。なるべく早く区民の方にお知らせする必要があると考えた。

○仮基本合意書はHPに載せたのか？

→・HPには載せていない。広報紙やHPにそのまま載せても説明不足でわかりにくいだろうから、概要のみを掲載した。

○この説明会でやり方に対して意見があった。私としては、明日以降はやめるべき、という意見だ。行政として、今回の説明会は中止して、4月以降にまたやるという事にすべきではないか？

→・これで終らせるつもりはない。これをやったから強引に進めるつもりもない。これで十分だとも思っていない。

・いくつかの対応が考えられる。明日以降止めるか、一回全部やってみて後日また1クールやるか、いずれにしても持ち返らせていただきたい。結論は明日中に出張所長に伝える。

○こういった意見が出るのは、みんながこの計画を真剣に考えているからだ。

○仮基本合意書に「3月を目途に本計画全体の基本的枠組みを規定する協定の作成を目指すものとする。」とうたわれている。それなのに、今日決めるつもりはないと言っても説得力がない。1月に仮基本合意、3月に本協定というのはどだい無理な話。4月に選挙で議員が変わる。それから、みんなの意見を吸い上げて、進めていった方がスムーズにいくと思う。

○アンケートで294の意見があったとなっているが、これは性別・年代別に集計しているのか？

→・している。

【併設の計画について】

○千代田区には近隣も含めて大きな病院がある。九段坂病院というのは我々は知らなかった。私の印象だが、九段坂病院は虎の門病院などに比べると、あまり知られていない。そんな病院がああ土地に、ああ象徴的な場所に、という印象がある。

→・区民の思いは受け止めている。区民の思い入れのある土地に区民の方が「あの施設はいいね」という風に思ってくれる施設でないといけないと思っている。

→・九段坂に対しては、救急医療・災害医療とか、区民の方に身近な医療を担ってくれるかという思いでいる。

○3月11日の大震災ですべてが変わった。アンケートを取り直さないとダメ。震災当日、東松下のスペースに千人くらいの人が集まったと聞いた。いざとなった時に人が集まるようなスペースが千代田にはない。今回の震災で人々の意見は変わった。そんな意見を出させる時間があってもいいと思う。意見を聞いた結果、サポートセンターがいいというのであれば、それはそれでいい。今一度、区民に意見を聞いてもらってもいいと思う。

→・3月11日によって、区としても防災対策を根本的に見直さなければならぬという認識には立っている。現状の帰宅困難者対策ではおさまりきれない課題が出ている。

○千代田区を震災が直撃したら…、ということを考えれば、隙間なく建物を建てること自体に問題があるのではないか。少ないスペースはよく考えて生かしていかなければならない。東松下も住宅にしてよかったのか。

○定借にしても東松下は70年で、今回はなぜ50年なのか？

○病院といえども、利益を得ようとする動きの中で経営をしている。地域への貢献と病院の経営は別のものとして考えることも必要だ。上げた利益が区民に還元されればよいが、そうとも限らない。地代について、100%とるか、2分の1減額とするかはよく考えて、検討した方がいい。

○暫定広場の請願を採択したとあるが、これは旧庁舎委員会の中間報告とは矛盾しないのか？

→・請願の内容は恒久的な施設ができるまで、とりあえず広場で活用するというもの。

○あのシンボリックな場所をどうするかについて、今後の選挙で立候補する人にアイデアを出させてもいい。

○リミットについては、どう考えているのか？

→・双方がやろうと合意することが必要。設計に1年、建築確認・工事に2年、合計して3年はかかる。早くても27年度の開設になる。

○今は非常事態だ。ここで強行突破してはならない。入り口の議論を重視した方がいい。